

＜市町村名＞ 久喜市

＜所在地＞ 久喜市下早見 85-3

＜電話＞ 0480-22-1111

＜本事例の特徴＞

本市では、14名の外国語指導助手を久喜市非常勤特別職（直接雇用）として任用している。外国語指導助手の指導力を向上させ、久喜市の外国語活動、英語教育を充実するために実施している研修について紹介する。

＜学校種＞ 小学校・中学校

＜具体的な取組や成果＞

(1) 久喜市外国語指導助手連絡協議会（月1回）の実施

**取組1** 14名の外国語指導助手が2名ずつ輪番制で、自校での言語活動の実践を紹介する。担当の外国語指導助手が教材作成時、指導上のコツやポイントを示すとともに、教師役となって、（他のALTが児童生徒役となって）実際に模擬授業を行う。活発に意見が交換され、各ALTが自校に持ち帰り、即、実践できるようになっている。

**取組2** 授業の充実に向けて、トピックについて意見・情報交換を行っている。これまでに取り上げたトピックとして、「学級担任（小学校）、英語担当教員（中学校）との打ち合わせの時間のもち方」、「教材発掘の方法」、「ICTの活用」などが議論された。

(2) 授業研究会の実施

ティーム・ティーチングの授業を外国語指導助手全員で参観している。研究協議では、外国語指導助手間での授業分析とともに、授業者の英語担当教諭も参加し、その立場から外国語指導助手の役割とその貢献度についても語られた。



～中学校3年生の授業～

参観したALTも生徒とのスピーキング活動を行った



～小学校5年生の授業～

児童は、動作をつけながら英語を使い、楽しく積極的に学んでいた



～授業後の研究協議～

全てのALTから意見を求め、よい点、改善点等について議論を深めた